

すずらんの里



題字
古川サチ子さん(入所者)

2008年 5月号 No. 86

発行者

〒869 - 5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームすずらんの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

新しい建屋が完成!

いこいの広場

先月末、無事に竣工式を終えた施設西側の「認知症対応型通所介護 いこいの広場」が今月より利用開始となります。

落ち着いた雰囲気のある和室と身体状況に合わせた利用者負担の少ない浴槽を完備し、玄関横のテ



ラスでは足湯を楽しむ事が出来るようになっていきます。

従来のサービスはもちろんの事、利用人数を増



員し、夕食の提供と夜七時までの夜間サービスも新たにご利用できます。今後「思いやりと笑顔」をモットーに、職員一同がんばりますので、皆様のご利用をお待ちしております。

元氣印パルナース

今月は、前田ミズエさん(81)を紹介します。

前田さんは、楽しい事やおかしな事があると、「ハハハ！」と大きな声で大笑いされるので周りにいる人達もつられて笑わされてしまい、その場の雰囲気が一瞬で明るくなります。



また、お友達には「今日はどやんかい」と毎日体調の心配をされる心優しい方です。
前田さんの長寿の秘訣は「よく食べてよく寝る事」だと話されます。これから元気に長生きして下さい。

介護職員 小川雄二



(担当)センター長

堀田 公子

生活相談員

野村真美子

祝 おめでとーございませ

～5月の誕生者～

橋口 富美子様

(T 2. 5.29 95歳)

栄養満点

～栄養部便り～
ソフト食の導入（2回目）



これからの献立に取り入れる予定の高齢者ソフト食メニューを紹介します。

高齢者ソフト食とは、刻み食の代わりとなり、安全で見た目もよく、美味しい食事を提供するために宮崎県在住の管理栄養士黒田留美子先生が考案されたものです。

参考文献：高齢者ソフト食 黒田留美子 2001
株式会社厚生科学研究所

変わり巻き寿司（作り方）

お米は、飲み込みやすいように2倍量の水に2%のゼラチンパウダーを加えて炊きます。途中で2、3回かきまぜるとゼラチンが沈殿しません。普通のりは喉につまりやすいので薄焼き卵ときざみのりを使用し具も小さく刻みます。ゼラチンが入ることで、ごはんが軟らかいだけでなく、口の中でばらつかずにまとまっているので食べやすいです。

私は誰でしょう？



ヒント；これは、私が15、6歳位の頃の写真で看護学校に通ってた時のものです。現在は、施設棟の看護師としてお仕事しています。一見、真面目そうに見えますけどユーモアたっぷりの冗談や話術で皆を楽しませてくれます。

* 4月号の正解は、
事務長 堀辺真祐さんでした。



すずらんの里の苑内や敷地内にはいろいろな、神仏や絵画等が設置されています。そこで今月より一つ一つ紹介していきます。

すずらん
ギャラリー
施設探訪

一回目は、玄関右側の建立してある「蛙の親子の石像」を紹介します。昔から蛙は「無事かえる」、「若かえる」、「福かえる」等、たくさ



んの語呂合わせがあり大変縁起がいいものとされてきました。この蛙の親子は、平成十三年に建立されて以来デイサービス利用者や入所者に福を呼び込み、また送迎車両などが無事にかえるように見守ってくれています。

介護職員 小川雄二

ホームページをリニューアルしました。
アドレス <http://www.tenryuukai.jp/>

広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。